

修繕設計書

所 属 部 課 名		建設部 下水道維持課							
部長	審議監	審議監	課長	補佐	補佐	主査		設計者	設計審査
修 繕 名 称		排水施設修繕その5							
修 繕 場 所		松戸市上本郷地内							
事 業 年 度		令和 7 年度							
修 繕 価 格		円							
修 繕 費 計		円							

設 計 説 明	路線延長	2.00m
	φ 400mm開削工 (VU管布設)	2.00m
	φ 450mm開削工 (HP管撤去)	11.10m
	φ 500mm開削工 (HP管撤去)	9.00m
	組立1号マンホール設置工	1基
	附帯工	1式

単価適用日 2025年10月8日

本 修 繕 内 訳 書

下水道工事(2)
共：一般交通影響有り(2)-2
現：一般交通影響有り(2)-2

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
本修繕費								
	管路施設工							
		管布設・撤去工						
			本管布設・撤去工	式	1			第 1 号内訳書参照
			本管土工	式	1			第 2 号内訳書参照
			本管土留工	式	1			第 3 号内訳書参照
		マンホール設置工						
			組立1号マンホール設置工	式	1			第 4 号内訳書参照
		附帯工						
			附帯工	式	1			第 5 号内訳書参照
			舗装復旧工	式	1			第 6 号内訳書参照

本 修 繕 内 訳 書

2 頁

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
			仮設工	式	1			第 7 号内訳書参照
	直接修繕費計			式	1			
		運搬費		式	1			第 8 号内訳書参照
		役務費		式	1			第 9 号内訳書参照
		共通仮設費		式	1			
		共通仮設費計		式	1			
	純修繕費			式	1			
		現場管理費		式	1			
	修繕原価			式	1			
		一般管理費等		式	1			
	修繕価格			式	1			

本 修 繕 内 訳 書

3 頁

費目	工種	種別	細別	単位	数量	単価	金額	摘要
		消費税及び地方消費税 相当額		式	1			
修繕費計				式	1			

第 1 号 内訳書 本管布設・撤去工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
硬質塩化ビニル管布設工	φ 400	m	1.55			第 1 号単価表参照
鉄筋コンクリート管撤去工	φ 450	m	11.1			第 2 号単価表参照
鉄筋コンクリート管撤去工	φ 500	m	9			第 3 号単価表参照
鉄筋コンクリート管運搬処分工		m ³	1.4			第 4 号単価表参照
ヒューム管VU管変換ソケット	φ 400mm	個	1			
計						

第 2 号 内訳書 本管土工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械掘削工(バックホ)		m3	22			第 5 号単価表参照
砂基礎設置工(機械施工)	再生砂	m3	1			第 6 号単価表参照
機械投入埋戻工(バックホ)	再生砂	m3	28			第 7 号単価表参照
残土処分工	BH0.28積込 4tDT運搬仮置 BH0.8積込	m3	22			第 8 号単価表参照
構造物とりこわし・運搬・処分	改良箇所掘削	m3	9			第 9 号単価表参照
計						

第 3 号 内訳書 本管土留工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
アルミ矢板建込工(両側分)	掘削深2.0m以下 BH0.28	m	10			第 10 号単価表参照
アルミ矢板引抜工(両側分)	掘削深2.0m以下 トラッククレーン4.9t吊	m	10			第 11 号単価表参照
土留支保工(軽量金属支保工)	1段	m	10			第 12 号単価表参照
仮設鋼材損料	矢板・軽量金属支保材	式	1			
開削水替工		式	1			第 13 号単価表参照
計						

第 4 号 内訳書 組立1号マンホール設置工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
マンホール鉄蓋（浮上・飛散防止型）	径600mm T-14 ダクタイル鋳鉄製	組	1			
組立1号マンホール	内径900mm、H=1.1m	基	1			
底部工（組立式）	1号マンホール	箇所	1			第 14 号単価表参照
組立マンホール設置工	1号 3m以下	箇所	1			第 15 号単価表参照
マンホール削孔費	0・1号用 塩ビ管 400mm	箇所	1			
無収縮モルタル	調整高 4cm	箇所	1			
計						

第 5 号 内訳書 附帯工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断	アスファルト舗装 15cm以下	m	48			第 16 号単価表参照
汚泥及び廃アルカリ運搬処分工	容器入り 処分費込み	m3	0.1			第 17 号単価表参照
舗装版破碎積込	アスファルト舗装 15cm以下	m2	36			第 18 号単価表参照
As廃材運搬処分工	10tDT運搬処分 処分費込み	m3	2			第 19 号単価表参照
路盤掘削工	BH0.28	m3	7			第 20 号単価表参照
路盤廃材運搬処分工	4tDT運搬処分 処分費込み	m3	7			第 21 号単価表参照
路盤工及び舗装工(市道一般・歩道切下)	表層(再生密粒度As t=50) 路盤(上層RM-30 t=150・下層RC-40 t=200)	m2	36			第 22 号単価表参照
歩車道境界ブロック撤去・新設		m	13			第 23 号単価表参照
既設管閉塞工	φ 450	式	1			第 24 号単価表参照
計						

第 6 号 内訳書 舗装復旧工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断	アスファルト舗装 15cm以下	m	28			第 16 号単価表参照
汚泥及び廃アルカリ運搬処分工	容器入り 処分費込み	m3	0.1			第 17 号単価表参照
舗装版破碎積込	アスファルト舗装 15cm以下	m2	100			第 18 号単価表参照
As廃材運搬処分工	10tDT運搬処分 処分費込み	m3	5			第 19 号単価表参照
不陸整正工	RM-30	m2	49			第 25 号単価表参照
不陸整正工	RC-40	m2	17			第 26 号単価表参照
アスファルト舗装工（市道一般・歩道切下）	表層（再生密粒度As13mm t=50 ポート）	m2	83			第 27 号単価表参照
アスファルト舗装工（歩道一般）	開粒度As t=40	m2	17			第 28 号単価表参照
樹脂系すべり止め舗装工		m2	16			第 29 号単価表参照
区画線設置工	常用	式	1			
計						

第 7 号 内訳書 仮設工

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 B		人日	33			第 30 号単価表参照
計						

第 8 号 内訳書 運搬費

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設材等の運搬	片道分 矢板、ライナープレート、覆工板等	t	0.192			第 31 号単価表参照
仮設材等の運搬	片道分 矢板、ライナープレート、覆工板等	t	0.192			第 31 号単価表参照
仮設材等の積込み取卸し費	往復分	t	0.192			第 32 号単価表参照
計						

第 9 号 内訳書 役務費

1 式

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
駐車場借地料		日				
計						

第 1 号 単価表

硬質塩化ビニル管布設工

φ 400

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
硬質塩化ビニル管布設工		m	1			第 33 号単価表参照
下水道用硬質塩化ビニル管	片受直管（ゴム輪）径 4 0 0	m	1			
計	1 m 当り					

第 2 号 単価表

鉄筋コンクリート管撤去工

φ 450

10 m 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
バックホウ クレーン付1.7t(2次)	山積0.28m3 平積0.2m3	日				第 34 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	10 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10950

J01 呼び径 = 8

呼び径450mm

第 3 号 単価表

鉄筋コンクリート管撤去工

φ 500

10 m 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
バックホウ クレーン付1.7t(2次)	山積0.28m3 平積0.2m3	日				第 34 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	10 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10950

J01 呼び径 = 9

呼び径500mm

第 4 号 単価表

鉄筋コンクリート管運搬処分工

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬		m3	1			第 35 号単価表参照
鉄筋ＣＯ処分費	東葛飾	t	2.5			
計	1 m3 当り					

第 5 号 単価表

機械掘削工(バックホ)

100 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
バックホ排対(2次)	山積0.28m3(平積0.2m3)	時間				第 36 号単価表参照
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100 m3 当り					
	1 m3 当り					

SDGD10030

J01 バックホ規格 = 1

排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)

第 6 号 単価表

砂基礎設置工(機械施工)

再生砂

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
砂基礎設置工(機械施工)	(市場単価)	m3	1			第 37 号単価表参照
砂	再生	m3	1.33			
計	1 m3 当り					

第 7 号 単価表

機械投入埋戻工 (ハックホ)

再生砂

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
機械投入埋戻工 (ハックホ)		m3	1			第 38 号単価表参照
砂	再生	m3	1.33			
計	1 m3 当り					

第 8 号 単価表

残土処分工

BH0.28積込 4tDT運搬仮置 BH0.8積込

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
発生土運搬工	現場～仮置場	m3	1			第 39 号単価表参照
積込（ルーズ）		m3	1			第 40 号単価表参照
土砂等運搬		m3	1			第 41 号単価表参照
建設発生土処理費	1処理、流6を除く	m3	1			
計	1 m3 当り					

第 9 号 単価表

構造物とりこわし・運搬・処分

改良箇所掘削

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし		m3	1			第 42 号単価表参照
処分費 (m3)		m3	1			第 43 号単価表参照
殻運搬		m3	1			第 44 号単価表参照
計	1 m3 当り					

SWB824020

J01 構造物区分 = 1
 J03 夜間作業の有無 = 1
 J05 DID区間の有無 = 2

無筋構造物
 無し
 有り

J02 時間的制約の有無 = 2
 J04 低騒音・低振動対策 = 1
 J06 運搬距離 (km) = 3

有り
 必要
 5.7以下

第 10 号 単価表

アルミ矢板建込工(両側分)

掘削深2.0m以下 BH0.28

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホ排対(2次)	山積0.28m3(平積0.2m3)	時間				第 36 号単価表参照
諸雑費(まるめ)		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10360

J01 掘削深 = 2

掘削深2.0m以下

J02 バックホ規格 = 3

排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)

第 11 号 単価表

アルミ矢板引抜工(両側分)

掘削深2.0m以下 トラッククレーン4.9t吊

100 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型]	4.9 t 吊	日				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10370

J01 掘削深 = 2

J03 トラッククレーン賃料補正 = 1

掘削深2.0m以下
標準 (1.0)

J02 使用機種 = 1

トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型4.9t吊

第 12 号 単価表

土留支保工(軽量金属支保工)

1段

100 m 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	100 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10400

J01 作業区分 = 3

J03 切梁材区分 = 1

設置撤去

切梁材 水圧式パイプサポート

J02 設置段数・掘削深 = 1

1段 2.0m以下

第 13 号 単価表

開削水替工

1 式 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ポンプ運転工		日				第 45 号単価表参照
ポンプ据付・撤去工		現場	1			第 46 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 14 号 単価表

底部工（組立式）

1号マンホール

1 箇所 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
碎石基礎工	機械投入埋戻工	m2	0.18			第 47 号単価表参照
コンクリート		m3	0.89			第 48 号単価表参照
モルタル上塗工	マンホール用	m2	0.95			第 49 号単価表参照
計	1 箇所 当り					

第 15 号 単価表

組立マンホール設置工

1号 3m以下

1 箇所 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
組立マンホール設置工	1号(900mm) 3m以下	箇所	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 箇所 当り					

SDGD60070

J01 規格・仕様 = 4 1号(900mm) 3m以下
 J03 時間的制約を受ける場合の補正 = 2 無

J02 施工規模 = 2
 J04 夜間作業補正 = 2 4箇所未満
 無

第 16 号 単価表

舗装版切断

アスファルト舗装 15cm以下

1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
コンクリートカッタ〔バキューム式 (超低騒音型)〕	湿式 切削深20cm級 フレード 径φ56cm	%	K1			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
普通作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
コンクリートカッタ (ブレード)	径18インチ	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			
	1 m 当り					

第 16 号

単価表

舗装版切断

アスファルト舗装 15cm以下

1

m

当り

2 頁

SCB430510

J01 舗装版種別 = 1

J05 費用の内訳 = 1

アスファルト舗装版
全ての費用

J02 アスファルト舗装版厚 = 1

15cm以下

第 17 号 単価表

汚泥及び廃アルカリ運搬処分工

容器入り 処分費込み

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運搬	容器入り	m3	1			第 50 号単価表参照
汚泥及び廃アルカリ処分費		kg	1, 130			
計	1 m3 当り					

第 18 号 単価表

舗装版破碎積込

アスファルト舗装 15cm以下

1 m2 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
コンクリート圧砕装置（大割機）	開口幅735～850mm破碎力550～980kN	%	K1			
バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型〕	山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m2 当り					

第 18 号

単価表

舗装版破碎積込

アスファルト舗装 15cm以下

1

m2

当り

2 頁

SCB430310			
J01	舗装版種別 = 1	アスファルト舗装版	J02 障害等の有無 = 1
J03	騒音振動対策 = 2	必要	J04 舗装版厚 = 3
J06	積込作業の有無 = 1	有り	J07 費用の内訳 = 1
			無し
			15cm以下
			全ての費用

第 19 号 単価表

As廃材運搬処分工

10tDT運搬処分
処分費込み

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬		m3	1			第 51 号単価表参照
A S 廃材処分費	葛南	t	2.35			
計	1 m3 当り					

第 20 号 単価表

路盤掘削工

BH0. 28

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔標準〕	排ガス型（第2次） 山積0. 2 8 m 3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210100

J01 土質 = 1
J05 施工数量 = 7

土砂
小規模（標準）

J02 施工方法 = 5

上記以外（小規模）

第 21 号 単価表

路盤廃材運搬処分工

4tDT運搬処分 処分費込み

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	BH0.28積込 4tDT運搬	m3	1			第 52 号単価表参照
路盤廃材処分費	東葛飾	t	1.8			
計	1 m3 当り					

第 22 号 単価表

路盤工及び舗装工(市道一般・歩道切下)

表層(再生密粒度As t=50)

路盤(上層RM-30 t=150・下層RC-40 t=200)

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
路盤工 (人力)	下層路盤 RC-40 t=200	m2	1			第 53 号単価表参照
路盤工 (人力)	上層路盤 RM-30 t=150	m2	1			第 54 号単価表参照
アスファルト舗装工 (人力)	再生密粒度As t=50	m2	1			第 55 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 23 号 単価表

歩車道境界ブロック撤去・新設

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
歩車道境界ブロック	切下用	m	1			第 56 号単価表参照
歩車道境界ブロック撤去		m	1			第 57 号単価表参照
計	1 m 当り					

第 24 号 単価表

既設管閉塞工

φ 450

1 式 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
型枠		m2	1			第 58 号単価表参照
コンクリート		m3	0.3			第 59 号単価表参照
溶接金網	径2.6×50×50	m2	0.6			
計	1 式 当り					

第 25 号 単価表

不陸整正工

RM-30

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
モータグレーダ [土工用]	排出ガス対策(2014年規制)フレッド幅3.1m	%	K1			
ロードローラ [マカダム]	運転質量10～12 t	%	K2			
タイヤローラ [普通型]	運転質量13～14 t	%	K3			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
普通作業員		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 25 号 単価表

不陸整正工

RM-30

1 m2 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
再生粒度調整碎石	RM30～0	%	Z1			
軽油		%	Z2			
	1 m2 当り					

SCB410010

J01 補足材料の有無 = 2

J03 補足材料 = 8

有り

再生粒度調整碎石 RM-30

J02 補足材料平均厚さ = 6

J04 費用の内訳 = 1

28mm以上34mm未満

全ての費用

第 26 号 単価表

不陸整正工

RC-40

1 m2 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
モータグレーダ [土工用]	排出ガス対策(2014年規制)フレッド幅3.1m	%	K1			
ロードローラ [マカダム]	運転質量10～12 t	%	K2			
タイヤローラ [普通型]	運転質量13～14 t	%	K3			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
普通作業員		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			

第 26 号 単価表

不陸整正工

RC-40

1 m2 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
再生クラッシャーラン	R C - 4 0	%	Z1			
軽油		%	Z2			
	1 m2 当り					

SCB410010

J01 補足材料の有無 = 2

J03 補足材料 = 6

有り

再生クラッシャー RC-40

J02 補足材料平均厚さ = 8

J04 費用の内訳 = 1

40mm以上46mm未満

全ての費用

第 27 号 単価表

アスファルト舗装工（市道一般・歩道切下）

表層（再生密粒度As13mm t=50 Pコート）

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量0.5～0.6 t	%	K1			
振動コンパクタ〔前進型〕	機械質量40～60 kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン（13）	%	Z1			
アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用	%	Z2			

第 27 号 単価表

アスファルト舗装工（市道一般・歩道切下）

表層（再生密粒度As13mm t=50 Pコート）

1 m2 当り

2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
ガソリン	レギュラー	%	Z3			
軽油		%	Z4			
	1 m2 当り					

SCB410260

J01 平均幅員 = 1

J05 材料 = 11

J07 費用の内訳 = 1

1. 4m未満（仕上厚50mm以下）

再生密粒度アスコン（1 3）

全ての費用

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下[mm] = 50

J06 瀝青材料種類 = 2

プライムコート PK-3

第 28 号 単価表

アスファルト舗装工（歩道一般）

開粒度As t=40

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量0.5～0.6 t	%	K1			
振動コンパクタ〔前進型〕	機械質量40～60 kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
アスファルト混合物	開粒度アスコン（13）	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			

第 28 号 単価表

アスファルト舗装工（歩道一般）

開粒度As t=40

1 m2 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
軽油		%	Z3			
	1 m2 当り					

SCB410660

J01 平均幅員 = 1

J04 材料 = 1

1. 4m未満
開粒度アスコン（13）

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下[mm] = 40

第 29 号 単価表

樹脂系すべり止め舗装工

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
樹脂系すべり止め舗装工	R P N - 3 0 1	m2	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 m2 当り					

SWB812020

J01 施工区分 = 1 車道（ETCレーン含む）
 J03 施工規模 = 2 100m2未満
 J05 夜間作業の補正 = 1 無
 J07 コンクリート舗装面の施工 = 1 無
 J09 施工幅員 = 1 1.0m超え（標準）

J02 規格・仕様 = 9 RPN-301
 J04 時間的制約を受ける場合の補正 = 1 無
 J06 既設アスファルト舗装面の施工 = 2 有
 J08 トップコートの有無 = 2 有

第 30 号 単価表

交通誘導警備員 B

1 人日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 B		人				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 人日 当り					

SWB010212

第 31 号 単価表

仮設材等の運搬

片道分

矢板、ライフプレート、覆工板等

1 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基本運賃区分 A	製品長12m以内 10kmまで	t	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 t 当り					

SWB010020

J01 発注機関区分 = 1

関東・中部・近畿

J04 製品長区分 = 1

12m以内

J06 運搬割増率（実数入力） = 0

J02 片道運搬距離（実数入力）[km] = 10

J05 運搬割増率 = 4

各種（実数入力）

J07 その他の諸料金の有無 = 2

無

第 32 号 単価表

仮設材等の積み取り卸し費

往復分

1 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
積み、取り卸し費（仮設材等）		t	2			
計	1 t 当り					

SWB010030

J01 作業区分 = 4

積み、取り卸し（往復分）

第 33 号 単価表

硬質塩化ビニル管布設工

10 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ クレーン付1.7t(2次)	山積0.28m3 平積0.2m3	日				第 60 号単価表参照
諸雑費		式	1			
計	10 m 当り					
	1 m 当り					

SDGD10210

J01 呼び径 (mm) = 1

呼び径400mm

第 34 号 単価表

バックホウ クレーン付1.7t(2次)

山積0.28m3 平積0.2m3

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人				
軽油		L	34			
バックホウ(クローラ) [標準・クレーン機能付き]	山積0.28m3(平積0.2m3)1.7t吊	日				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 日 当り					

SDGD10955

第 35 号 単価表

殻運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	10 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB227010

J01 殻発生作業 = 2
J03 DID区間の有無 = 2
J13 費用の内訳 = 1
コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし
有り
全ての費用

J02 積込工法区分 = 1
J04 運搬距離 (km) (DID区間有無) = 3 5.7km以下
機械積込

第 36 号 単価表

バックホウ排対(2次)

山積0.28m3(平積0.2m3)

1 時間 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手 (特殊)		人				
軽油		L	5.9			
バックホウ (クローラ) [標準]	排ガス型 (第2次) 山積0.28m3	時間				
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 時間 当り					

SDGD10032

第 37 号 単価表

砂基礎設置工(機械施工)

(市場単価)

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
砂基礎工(手間のみ)	砂基礎設置 機械施工	m3	1			
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 m3 当り					

SDGD60040

J01 施工規模 = 2

10m3未満

J02 時間的制約を受ける場合の補正 = 2 無

J03 夜間作業補正 = 2

無

第 38 号 単価表

機械投入埋戻工 (ハック材)

100 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
ハック材排対 (2次)	山積0.28m3 (平積0.2m3)	時間				第 36 号単価表参照
タンパ締固め		m3	100			第 61 号単価表参照
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	100 m3 当り					
	1 m3 当り					

SDGD10130

J01 ハック材規格 = 1

排対 (2次) 山積0.28m3 (平0.2m3)

J02 タンパ締固め数量 (m3) (実数) $[m3/100m3] = 100$

第 39 号 単価表

発生土運搬工

現場～仮置場

10 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック	4t積級	日				第 62 号単価表参照
計	10 m3 当り					
	1 m3 当り					

SDGD10160

J01 ダンプトラック規格 = 1

ダンプトラック 4t積級

J02 運搬距離（実数入力）[km] = 2

J03 DID区間 = 2

DID区間あり

J04 バックホウ規格 = 3

排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)

J05 タイヤ損耗費 = 2

良好

第 40 号 単価表

積込（ルーズ）

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔標準〕	排ガス型（第2次） 山積0.28m3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210020

J01 土質 = 1

土砂

J02 作業内容 = 4

小規模（標準）

第 41 号 単価表

土砂等運搬

1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	4 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 2

J03 土質 = 1

J14 運搬距離 (km) (DID区間有) = 12 17.0km以下

小規模

土砂 (岩塊・玉石混り土含む)

J02 積込機種・規格 = 5

J04 DID区間の有無 = 2

バックホウ山積0.28m3 (平積0.2m3)

有り

第 42 号 単価表

構造物とりこわし

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
無筋構造物	昼間 機械施工 制約受ける	m3	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 m3 当り					

SWB824010

J01 構造物区分 = 1

無筋構造物

J03 時間的制約の有無 = 2

有り

J05 低騒音・低振動対策 = 1

必要

J02 工法区分 = 1

J04 夜間作業の有無 = 1

機械施工

無し

第 43 号 単価表

処分費 (m3)

100 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
無筋 C o 処分費	東葛飾	t	235			
計	100 m3 当り					
	1 m3 当り					

SWB020051

第 44 号 単価表

殻運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	10 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB227010

J01 殻発生作業 = 1

J03 DID区間の有無 = 2

J13 費用の内訳 = 1

コンクリート(無筋) 構造物とりこわし

有り

全ての費用

J02 積込工法区分 = 1

J04 運搬距離 (km) (DID区間有無) = 3 5.7km以下

機械積込

第 45 号 単価表

ポンプ運転工

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
工事用水中モータポンプ [普通型]	潜水ポンプ 口径φ 5 0 mm 全揚程 5 m	日				
発動発電機 [ガソリンエンジン駆動]	3 k V A	日				
諸雑費		式	1			
計	1 日 当り					

SDGD10670

J01 排水方法・動力源 = 2

作業時排水 発動発電機

J02 ポンプ台数（実数入力）[台] = 1

第 46 号 単価表

ポンプ据付・撤去工

1 現場 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人				
計	1 現場 当り					

SDGD10680

第 47 号 単価表

砕石基礎工

機械投入埋戻工

100 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
再生クラッシャーラン	R C - 4 0	m3	24			
計	100 m2 当り					
	1 m2 当り					

SDGD10700

J01 バックホウ規格区分 = 2

BH(1次) 山積0.28m3(平積0.20m3)

J02 砕石の厚さ(m) (実数入力) [m] = 0.2

第 48 号 単価表

コンクリート

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ(クローラ) [標準・クレーン機能付き]	山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊	%	K1			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
運転手 (特殊)		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
生コンクリート	18-8-25 (20) 高炉 W/C60%以下	%	Z1			
軽油		%	Z2			

第 48 号 単価表

コンクリート

1 m3 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
	1 m3 当り					

SCB240010

J01 構造物種別 = 2

J03 コンクリート規格 = 41

J13 費用の内訳 = 1

小型構造物

18-8-25 (高炉)

全ての費用

J02 打設工法 = 3

J05 養生工の種類 = 1

バックホウ (クレーン機能付) 打設

養生無し

第 49 号 単価表

モルタル上塗り

マンホール用

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
左官		人				
普通作業員		人				
モルタル練		m3	0.02			1*(20/1000) 第 63 号単価表参照
諸雑費 (まるめ)		式	1			
計	1 m2 当り					

SDGD10740

J01 配合比 = 3
J03 セメント種類 = 2

配合比 1 : 3
高炉

J02 モルタル厚さ(10～30mm) (実数入力) [mm] = 20

※施工パッケージ単価

第 50 号 単価表

運搬

容器入り

1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 3 現場制約あり
 J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
 J18 運搬距離 (km) (DID区間有) = 13 23.0km以下

J02 積込機種・規格 = 7 人力
 J04 DID区間の有無 = 2 有り

第 51 号 単価表

殻運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	10 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB227010

J01 殻発生作業 = 3

J03 DID区間の有無 = 2

J13 費用の内訳 = 1

舗装版破碎
有り
全ての費用

J02 積込工法区分 = 2

J06 運搬距離 (km) (DID区間有) = 11 17.5km以下

機械 (対策不要厚15cm超) 又は必要

※施工パッケージ単価

第 52 号 単価表

土砂等運搬

BH0.28積込 4tDT運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	4 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 2 小規模

J02 積込機種・規格 = 5

J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)

J04 DID区間の有無 = 2

J14 運搬距離 (km) (DID区間有) = 12 17.0km以下

バックホウ山積0.28m3 (平積0.2m3) 有り

第 53 号 単価表

路盤工（人力）

下層路盤 RC-40 t=200

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ(クローラ型)〔後方超小 旋回型〕	超低騒音型 排ガス型(第3次) 山積0.09m3	%	K1			
振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コ ンパインド式〕	運転質量3～4 t	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
再生クラッシャーラン	RC-40	%	Z1			

第 53 号 単価表

路盤工（人力）

下層路盤 RC-40 t=200

1 m2 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
軽油		%	Z2			
	1 m2 当り					

SCB410031

J01 全仕上り厚（実数入力）[mm] = 200

J02 施工区分 = 1

J03 材料 = 6

再生クラッシュラン RC-40

J04 費用の内訳 = 1

1層施工
全ての費用

第 54 号 単価表

路盤工（人力）

上層路盤 RM-30 t=150

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ(クローラ型)〔後方超小 旋回型〕	超低騒音型 排ガス型(第3次) 山積0.09m3	%	K1			
振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コ ンパインド式〕	運転質量3～4 t	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
再生粒度調整碎石	RM30～0	%	Z1			

第 54 号 単価表

路盤工（人力）

上層路盤 RM-30 t=150

1 m2 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
軽油		%	Z2			
	1 m2 当り					

SCB410041

J01 全仕上り厚（実数入力）[mm] = 150

J02 施工区分 = 1

J03 材料 = 2

再生粒度調整碎石 RM-30

J04 費用の内訳 = 1

1層施工
全ての費用

第 55 号 単価表

アスファルト舗装工（人力）

再生密粒度As t=50

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量0.5～0.6 t	%	K1			
振動コンパクタ〔前進型〕	機械質量40～60 kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン（13）	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			

第 55 号 単価表

アスファルト舗装工（人力）

再生密粒度As t=50

1 m2 当り

2 頁

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
軽油		%	Z3			
	1 m2 当り					

SCB410260

J01 平均幅員 = 1

J05 材料 = 11

J07 費用の内訳 = 1

1. 4m未満（仕上厚50mm以下）

再生密粒度アスコン（1 3）

全ての費用

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下[mm] = 50

J06 瀝青材料種類 = 5

無し

第 56 号 単価表

歩車道境界ブロック

切下用

1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔標準〕	山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	%	K1			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
型わく工		%	R4			
材料構成比		%	Z			
千葉県型歩車道境界ブロック	MT-B1	%	Z1			
生コンクリート	18-8-25（20） 高炉 W/C60%以下	%	Z2			

第 56 号 単価表

歩車道境界ブロック

切下用

1 m 当り 2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
再生クラッシャーラン	R C - 4 0	%	Z3			
軽油		%	Z4			
	1 m 当り					

SCB422510

J01 作業区分 = 1

J02 ブロック規格 = 4

J03 m当り歩車道境界ブロック使用量[個/m] = 1.67

J04 基礎碎石規格 = 2

J05 均し基礎コンクリート規格 = 3

18-8-25 (高炉)

J06 養生工の有無 = 1

各種 (600mm以下、50kg未満)
再生クラッシャー RC-40
無し

第 57 号 単価表

歩車道境界ブロック撤去

1 m 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ（クローラ） 〔超小旋回型〕	山積0. 2 2 m 3（平積0. 1 6 m 3）	%	K1			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
運転手（特殊）		%	R3			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m 当り					

SCB422540
J01 再利用区分 = 1 処分

第 58 号 単価表 型枠 1 m2 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
型わく工		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
	1 m2 当り					

SCB240210

J01 型枠の種類 = 1

一般型枠

J02 構造物の種類 = 2

小型構造物

第 59 号 単価表

コンクリート

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
生コンクリート	18-8-25 (20) 高炉 W/C60%以下	%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB240010

J01 構造物種別 = 2

J03 コンクリート規格 = 41

J07 現場内小運搬の有無 = 2

小型構造物

18-8-25 (高炉)

無し

J02 打設工法 = 4

J05 養生工の種類 = 1

J13 費用の内訳 = 1

人力打設

養生無し

全ての費用

第 60 号 単価表

バックホウ クレーン付1.7t(2次)

山積0.28m3 平積0.2m3

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人				
軽油		L	34			
バックホウ(クローラ) [標準・クレーン機能付き]	山積0.28m3(平積0.2m3)1.7t吊	日				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 日 当り					

SDGD10920

第 61 号 単価表

タンパ締固め

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
タンパ及びランマ	質量 60～80kg	%	K1			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
ガソリン	レギュラー	%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210450
J01 費用の内訳 = 1

全ての費用

第 62 号 単価表

ダンプトラック

4t積級

1 日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（一般）		人				
軽油		L	32			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	4 t 積級	供用日	1. 29			
タイヤ損耗費	4 t 積級 良好 供用日	供用日	1. 29			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 日 当り					

SDGD10180

J01 機械損耗部品補正 = 2

良好

第 63 号 単価表

モルタル練

1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
材料構成比		%	Z			
セメント（高炉B）	2 5 k g 袋入	%	Z1			
コンクリート用骨材 砂	洗い 細目	%	Z2			
	1 m3 当り					

SCB240060

J01 セメント種類 = 2

高炉

J02 費用の内訳 = 1

全ての費用

一 式 当 た り 内 訳 書

・単価世代 2025年10月8日 ・時間的制約状況 制約を受ける ・月単位<現場閉所> ・交通誘導警備員は時間的制約対象外
・諸経費工種 下水道工事(2) ・施工地域補正 共通仮設費：一般交通影響有り(2)-2 現場管理費：一般交通影響有り(2)-2

[illegible]

排水施設修繕その５ 条件明示及び特記仕様書

修繕名称	排水施設修繕その５
適 用	老朽化の著しい下水道施設の修繕を実施するものです。
一般事項	- 本書及び図面等の設計図書に定めのない事項については千葉県土木工事共通仕様書に準じるものとする。 - 本修繕の仮設物については、図面等の設計図書に特別な定めがある場合を除き、施工者において任意に計画できるものとし、その詳細について監督職員に提示しなければならない。 - 施工計画は、施工者の創意工夫をもって立案し、要求された品質・性能を満足する修繕目的物を約束の期日までに発注者に引き渡せるように計画しなければならない。また、設計内容を熟知し、疑義がある場合は予め監督職員と協議するものとする。 - 施工管理は、特に定めがある場合を除き、千葉県土木工事施工管理基準により行うものとする。 - 着手前に現地を十分に踏査し、設計図書と現地が一致しているかをチェックし、その結果を監督職員に報告しなければならない。 - 着手に先立ち、関係機関との手続きは勿論、近隣住民等への周知を徹底し、通行人を含め、第三者とのトラブルを回避するよう努めなければならない。 - 境界杭等は、修繕によって移動・損傷のおそれがある場合は、所有者に説明した上で施工前に写真に残し、復元出来る様な措置を講じなければならない。 - 施工に伴って通常発生する物件等の毀損の補修費及び騒音、振動、濁水、交通等による事業損失に係る補償費は現場管理費に含むものとする。ただし、臨時にして巨額なものは除く。
安全・交通規制関係	- 本修繕は昼間作業（９：００～１７：００）を原則とする。施工中の交通整理員は、１日３名以上の配置を原則とするが、工種・施工形態及び交通量等を考慮し増員等をもって安全の確保に努めなければならない。また、休憩時間（昼休み等）においても同様とする。 - 交通規制は、周辺の工事との調整を図り、適切に行わなければならない。 - 施工に関しては、労働安全衛生法、道路交通法、騒音・振動規制法その他の関係法令を遵守すること。

残土・産業 廃棄物関係	1 別添「建設副産物について」に基づく。
土工関係	1 図面等の設計図書に特別な定めがある場合を除き、掘削の範囲や施工方法については施工者の定めるところによるものとする。 2 図面等の設計図書に特別な定めがある場合を除き、埋戻しに使用する土砂は、再生砂または改良土とし、建設副産物の再利用に寄与するものとする。ただし、発生土が良質で埋戻し材として使用できると判断した場合は監督職員の指示を得て使用できる。この場合、設計変更の対象となる。 3 掘削において、高さが規定されている場合は、余掘り等出来るだけ地山を乱さないように施工すること。また、掘削面が軟弱な場合は砂等で置換するなど検討すること。
施工関係	1 既設の雨水管に硬質塩化ビニル管を接合する際には、既設の雨水管に破損などの異状が無いことを確認すること。異状が確認された場合には、速やかに監督職員へ報告し、このことにより設計内容に変更を伴うと思われるときは、速やかに監督職員と協議しなければならない。 2 既設の埋設物については、施工者においてもよく調査し、要所においては必要により試験掘を行い、企業者の立会いを求め確認し、書面にてその結果を監督職員に報告すること。また、このことにより設計内容に変更を伴うと思われるときは、速やかに監督職員と協議しなければならない。

建設副産物について

1. 共通事項

- (1) 受注者は、建設副産物対策を適切に実施するため、修繕現場における責任者を明確にすること。また、責任者は、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画、廃棄物処理計画等の内容について現場担当者の教育を十分に行うとともに、下請負者にもこれを周知徹底すること。
- (2) 請負者は「建設リサイクル推進計画2020」に基づき、本修繕に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム(COBRIS)」により作成し、施工計画書に含め各1部提出すること。また、計画の実施状況(実績)については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を修繕完成後一年間保存しておくこと。
- (3) 建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」により監督職員の確認を受け、同申請書を2部提出すること。
- (4) 建設廃棄物の処分にあって、排出事業者(元請業者)は処分業者と建設廃棄物処理契約を締結し、建設廃棄物処理委託契約書(厚生省作成または建設八団体廃棄物対策連絡会作成様式)を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを提出すること。なお、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理契約を締結すること。
- (5) 建設副産物の処理完了後速やかに「建設副産物処理調書」を作成し、監督職員に2部提出するとともに、実際に要した処分費(受入伝票、写真等)を証明する資料を監督職員に提示し、確認を受けること。
- (6) 建設廃棄物については、「建設廃棄物処理におけるマニフェストシステム(集荷目録制)」の実施に基づく、建設廃棄物マニフェストA票、B2票、D票、E票(複写式伝票)を監督職員に提示し、確認を受けるとともに、D票、E票の写しを提出すること。また、排出事業者はA、B2、D、E票を5年間保存する。
- (7) 発生した余剰材は、元請業者が、責任をもって処理することが基本であり、資材として再利用される場合以外は協力業者や資材納入業者に持ち帰らせてはならない。

2. 建設発生土

建設発生土は、(22m³) は、柏市岩井 296 番地 1 地先、

片道運搬距離 14.7 kmの(株)エスブロックに搬出するものとする。

建設発生土の処分については、仮置きについて考慮するものとする。

3. 改良土

発生土の内、図面等の指示により改良土を埋戻し材として利用する場合は千葉県知事の許可を得た改良プラントに発生土を搬出し、改良土を得るものとする。

4. 路盤廃材

本修繕により発生する路盤廃材（ 7m³）は、柏市高田 1116 番地 32 地先、片道運搬距離 14.4 kmの㈱丸昭建材に運搬し、処理するものとする。

5. 建設廃棄物

本修繕により発生する

- 1) アスファルト塊（ 7m³）は、市川市下妙典 1153 番地 1 地先、片道運搬距離 17.3 kmの新榮建設興業㈱に運搬し、処理するものとする。
- 2) コンクリート塊（ 10.4m³）は、松戸市松飛台 286-17 地先、片道運搬距離 5.5 kmの石建商事㈱に運搬し、処理するものとする。
- 3) 建設発生木材（ m³）は、 市 町地先、片道運搬距離 kmの に運搬し、処理するものとする。
- 4) 建設汚泥（ 0.2m³）は、八千代市吉橋字内野 1075 番地 9 地先、片道運搬距離 19.7 kmの千葉丸辰道路㈱に運搬し、処理するものとする。
- 5) 建設混合廃棄物（ m³）は、 市 町地先、片道運搬距離 kmの に運搬し、処理するものとする。

なお、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。修繕発注後、上記の指定処理により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。片道運搬距離は積算上処理分区ごとに代表地点から算出した距離であり、実際の運搬距離と差異が生じた場合においては設計変更の対象としない。また、元請業者は次の事項に留意し建設廃棄物を運搬しなければならない。

- (1) 廃棄物処理法に規定する処理基準を遵守すること。
- (2) 運搬経路の適切な設定並びに車両及び積載量等の適切な管理により騒音、振動塵芥等の防止に努めるとともに、安全な運搬に必要な措置を講じること。
- (3) 運搬途中において積替えを行う場合は、関係者と打ち合わせを行い、環境保全に留意すること。
- (4) 混合廃棄物の積替保管に当たっては、手選別等により廃棄物の性状を変えないこと。

雨天時における安全管理に関する特記仕様書

1 請負者は、突発的な局所的集中豪雨に対しても工事の安全管理に万全を期するため、以下の作業中止基準を遵守しなければならない。気象情報については注意報及び警報の対象を大雨、洪水のいずれかとする。

(1) 作業開始前

- ① 当該施工箇所に、一滴でも雨が降ってる場合、作業は開始しない。
- ② 当該施工箇所に係る気象区域に、注意報または警報が発令されている場合、作業は開始しない。

(2) 作業開始後

- ① 当該施工箇所に、一滴でも雨が降れば、即刻作業を中断し、一時地上に避難する。
- ② 当該施工箇所に係る気象区域に、注意報または警報が発令された場合、即刻作業を中断し、一時地上に避難する。
- ③ 避難に関しては、作業中の資器材を放置する。

(3) 作業開始・再開の条件

作業の開始及び再開にあたっては、次の三項目のすべてが確認されることを条件とする。

- ① 当該施工箇所に雨が降っていないこと、また、当該施工箇所に係る気象区域に、注意報または警報が発令されていないことが確認されること。
- ② 管内の水位を計測し、事前の調査に基づく通常水位と変わらないことが確認されること。
- ③ 作業着手前の安全確認について、施工計画書に定める事項の全てを完了すること。

2 請負者は、急激な気象変動などの気象情報を迅速に取得するため、気象担当者の携帯電話に、注意報及び警報の自動配信システムを配備しなければならない。

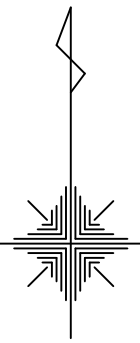
3 請負者は、作業員が管内から地上に、安全かつ迅速に退避するため、人命の最優先を基本とし、ブザー付回転灯の配備、退避時の資器材放置及びこれらを盛り込んだ退避計画を作成し、施工計画書に記載しなければならない。退避計画の基本事項は、次の通りとする。

- ① 作業中止基準の明示
- ② ブザー付回転灯の配備等、退避指示の確実な伝達方法
- ③ 退避時に放置する資器材などによる管内の状況や退避時間を考慮した退避ルートの決定
- ④ 工事着手前における退避訓練の実施方法

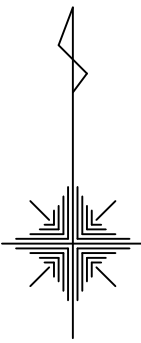
4 請負者は、不測の事態においても人命を確保するため、作業に先立ち、管内に人孔間を結ぶ救助用ロープの設置、人孔への縄梯子の設置、安全帯の装着など、適宜、作業環境に応じた対策を組み合わせ、安全対策の充実を図らなければならない。

管布設撤去工・マンホール設置工・附帯工・運搬費・役務費			
工 種	形 状 寸 法	単位	合計
管布設・撤去工			
1) 本管布設・撤去工			
硬質塩化ビニル管設置工	φ400	m	1.55
鉄筋コンクリート管撤去工	φ450	m	11.10
鉄筋コンクリート管撤去工	φ500	m	9.00
鉄筋コンクリート管運搬処分工	4tDT運搬処分 処分費込み	m3	1.4
HP→VU変換ソケット	φ400用	個	1
2) 本管土工			
機械掘削工	BH0.28	m3	22
砂基礎設置工(機械施工)	再生砂	m3	1
機械投入埋戻工(ハック)	再生砂	m3	28
残土処分工	BH0.28積込 4tDT運搬仮置 BH0.8積込	m3	22
構造物とりこわし・運搬・処分	改良箇所掘削 処分費込み	m3	9
3) 本管土留工			
アルミ矢板建込工(両側分)	掘削深2.0m以下 BH0.28	m	10
アルミ矢板引抜工(両側分)	掘削深2.0m以下 トラックレール4.9t吊	m	10
土留支保工(軽量金属支保工)	1段 2.0m以下	m	10
仮設鋼材損料	矢板・軽量金属支保材	式	1
開削水替工		式	1
マンホール設置工			
1) 組立1号マンホール設置工			
マンホール鉄蓋(浮上・飛散防止型)	径600mm T-14 ダクタイル鋳鉄製	組	1
組立1号マンホール	内径900mm、H=1.08m	基	1
底部工(組立式)	1号マンホール	箇所	1
組立マンホール設置工	1号 3m以下	箇所	1
マンホール削孔費	1号用 塩ビ管 400mm	箇所	1
無収縮モルタル	調整高4cm	箇所	1
附帯工			
1) 附帯工			
舗装版切断	アスファルト舗装 15cm以下	m	48
汚泥及び廃アルカリ運搬処分工	容器入り 処分費込み	m3	0.1
舗装版破碎積込	アスファルト舗装 15cm以下	m2	36
As廃材運搬処分工	10tDT運搬処分 処分費込み	m3	2
路盤掘削工	BH0.28	m3	7
路盤廃材運搬処分工	4tDT運搬処分 処分費込み	m3	7
路盤工及び舗装工(市道一般・歩道切下)	表層(再生密粒度As t=50) 上層路盤t=150(RM-30) 下層路盤t=200(RC-40)	m2	36
歩車道境界ブロック撤去・新設		m	13
既設管閉塞工	φ450	式	1
2) 舗装復旧工			
舗装版切断	アスファルト舗装 15cm以下	m	28
汚泥及び廃アルカリ運搬処分工	容器入り 処分費込み	m3	0.1
舗装版破碎積込	アスファルト舗装 15cm以下	m2	100
As廃材運搬処分工	10tDT運搬処分 処分費込み	m3	5
不陸整正工	RM-30	m2	49
不陸整正工	RC-40	m2	17
アスファルト舗装工(市道一般・歩道切下)	表層(再生密粒度As t=50)	m2	83
アスファルト舗装工(市道歩道)	表層(開粒度As t=40)	m2	17
樹脂系すべり止め舗装工	赤色	m2	16
区画線設置工	常用	式	1
3) 仮設工			
交通誘導警備員B		人日	33
運搬費			
仮設材等の運搬	片道分	t	0.192
仮設材等の運搬	片道分	t	0.192
仮設材の積込み取卸し費	往復分	t	0.192
役務費			
駐車場借地料		日	5

位置図 尺度 1:5000

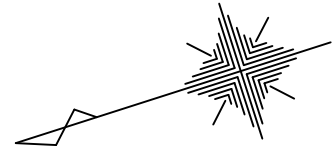


系統図 尺度 1:2500



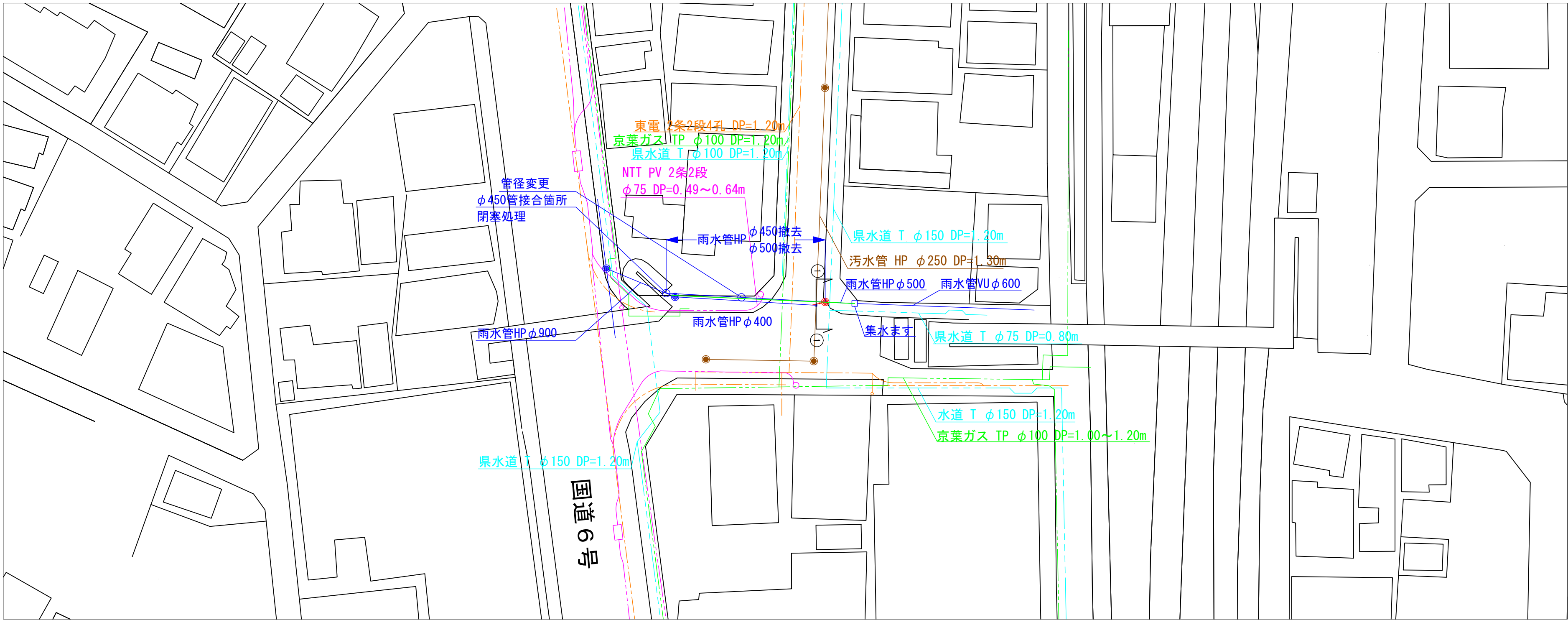
修繕の概要		
●路線延長	2.00	m
○内径400mm管布設工	2.00	m
○内径450mm管撤去工	11.10	m
○内径500mm管撤去工	9.00	m
○組立1号マンホール設置工	1	基
○附帯工	1	式

令和 7 年度	
修 繕 名	排水施設修繕その5
路線 番号 名称	R15-1
修繕箇所	松戸市 上本郷 地内
図面種別	位置図・系統図
縮 尺	図 示
図面番号	全 2 葉ノ内 第 1 号
松戸市建設部下水道維持課	

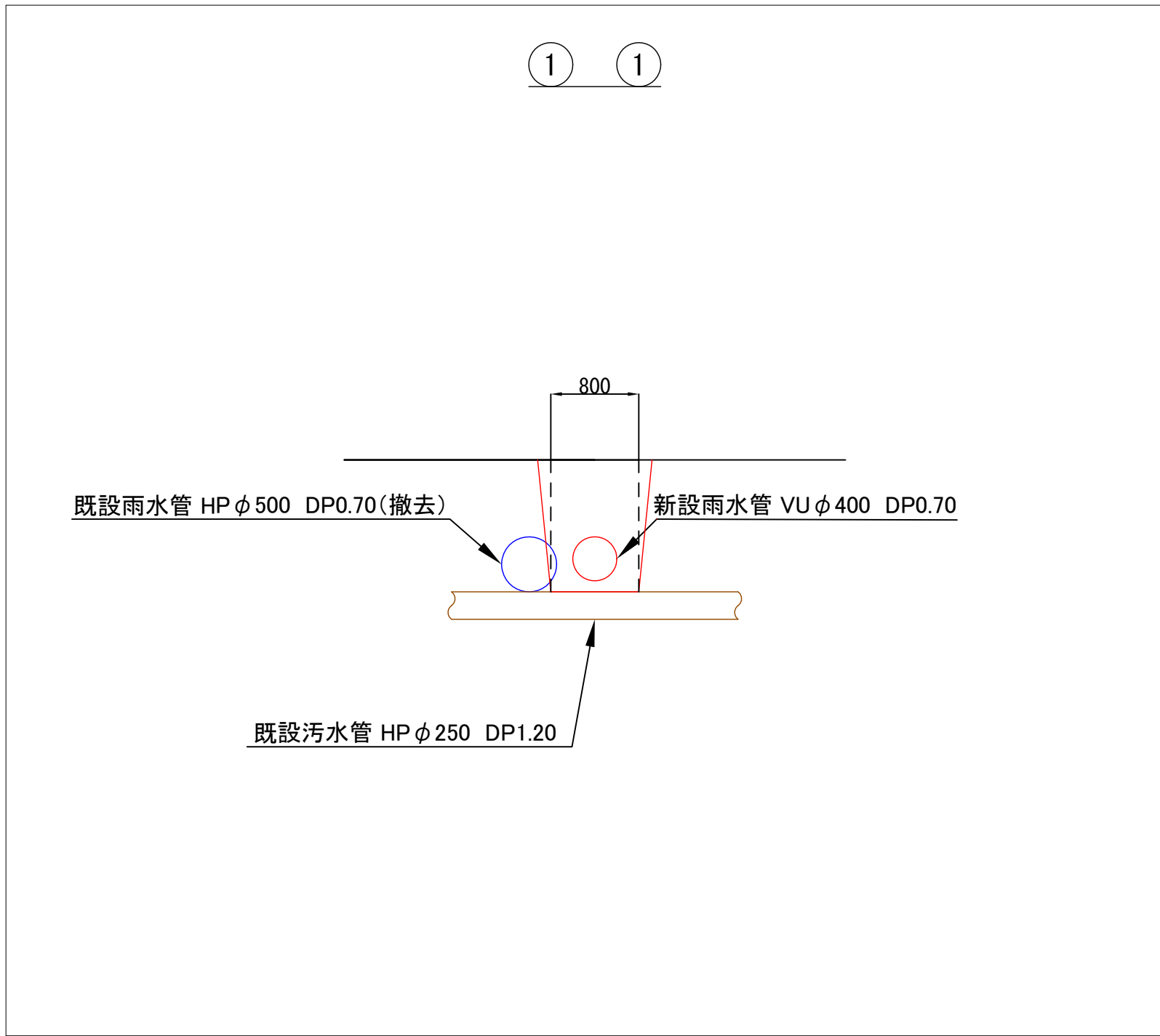


平面図 尺度 1:500

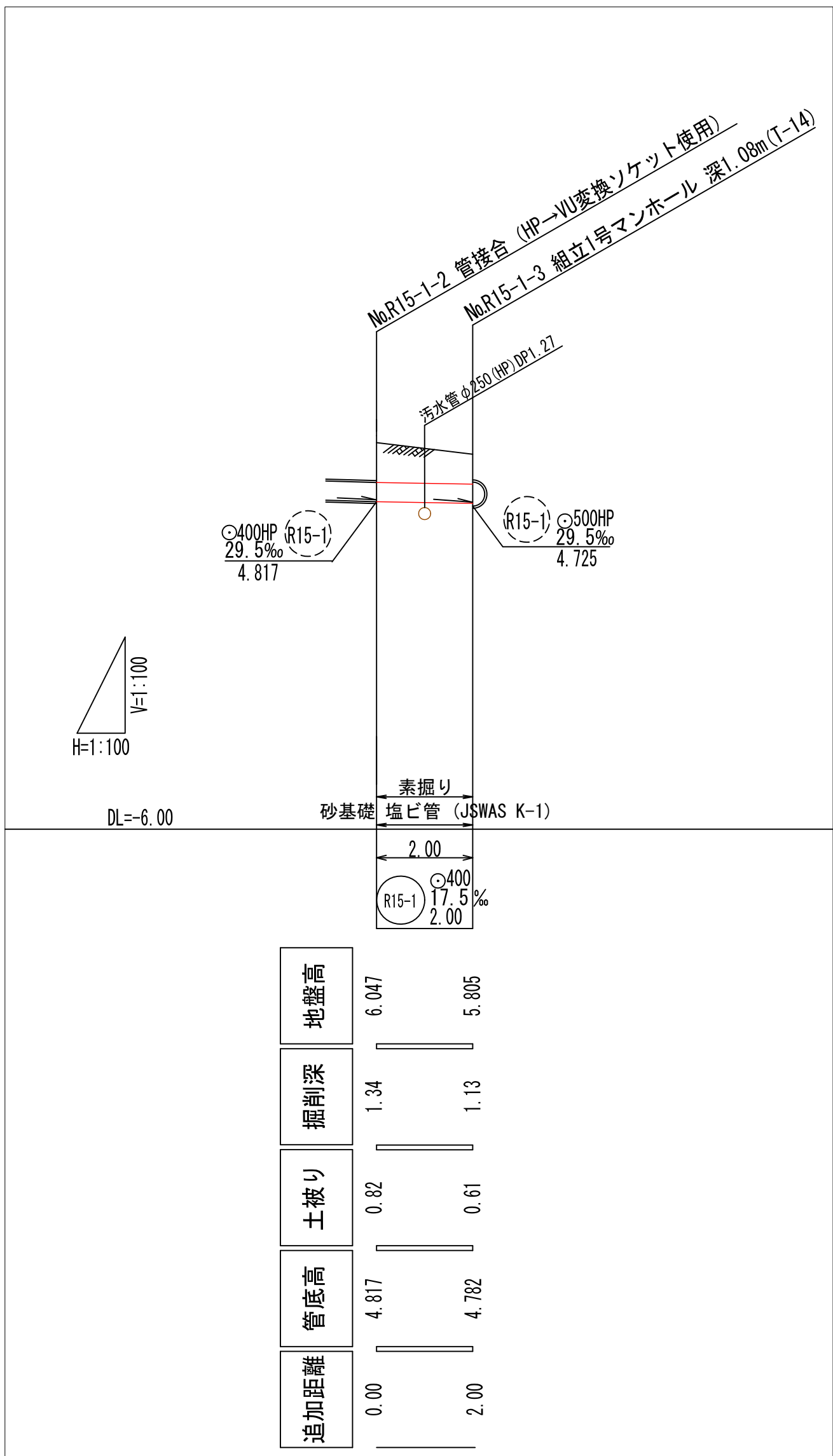
松戸市 北松戸一丁目 地先
舗装復旧 (松戸市道6地区23号 N3・旧L交通)



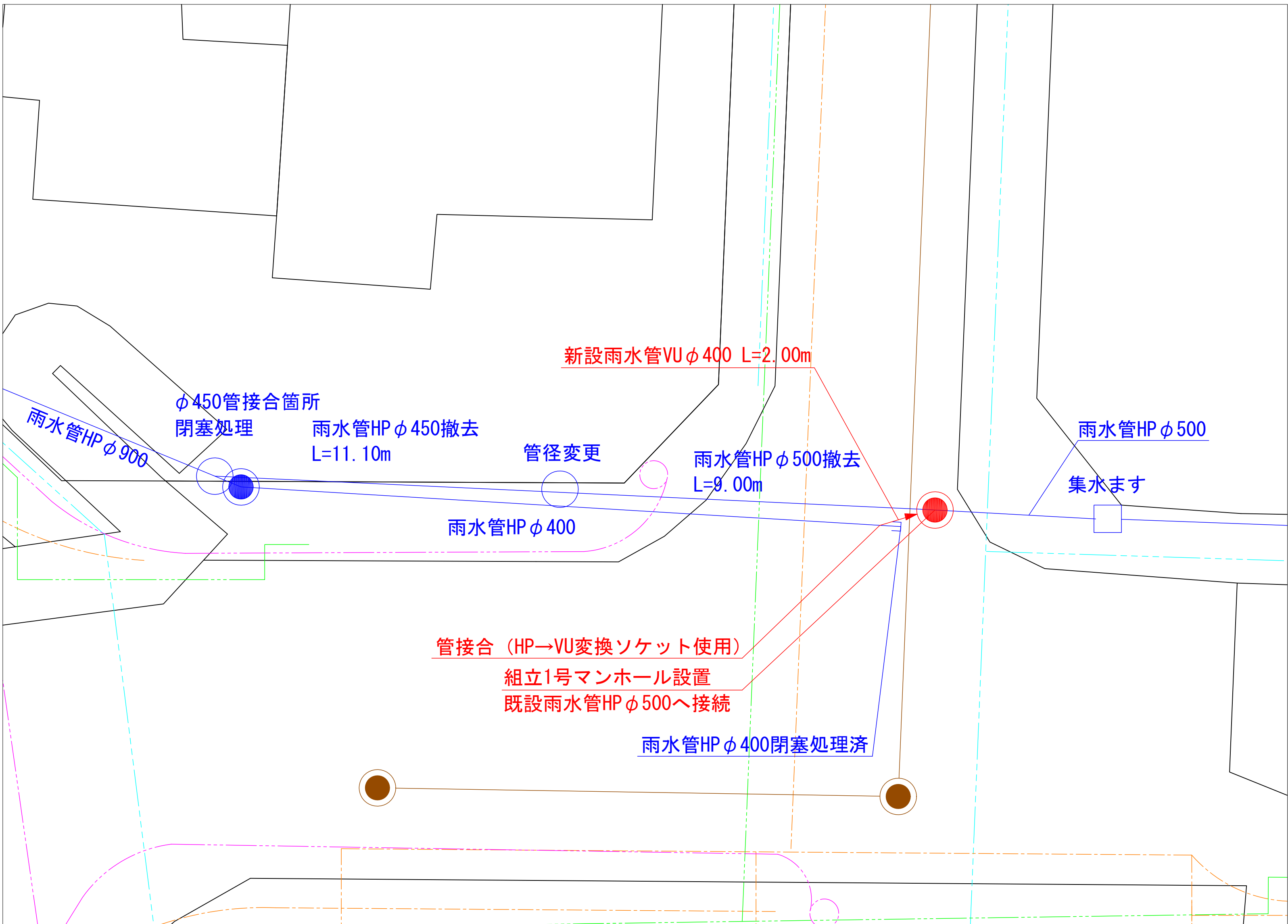
横断面図 尺度 1:50



縦断面図 尺度 縦 1:100 横 1:100



詳細平面図 尺度 1:100

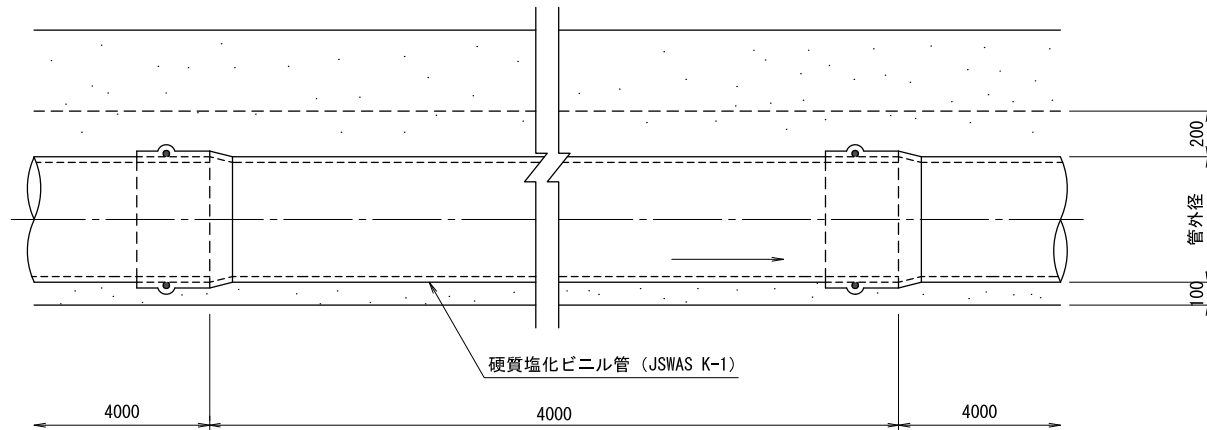


案内図 尺度 1:5000

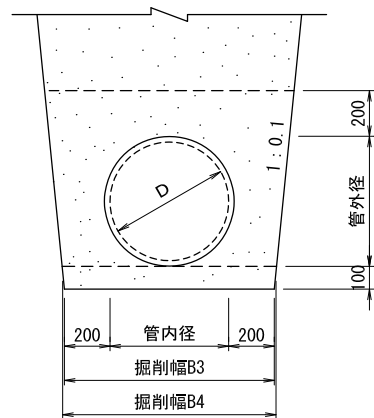


令和 7 年度	
修繕名	排水施設修繕その5
路線番号 名称	R15-1
修繕箇所	松戸市 上本郷 地内
図面種別	平面図・縦断面図・横断面図
縮尺	図示
図面番号	全 2 葉ノ内 第 2 号
松戸市建設部下水道維持課	

縦断図



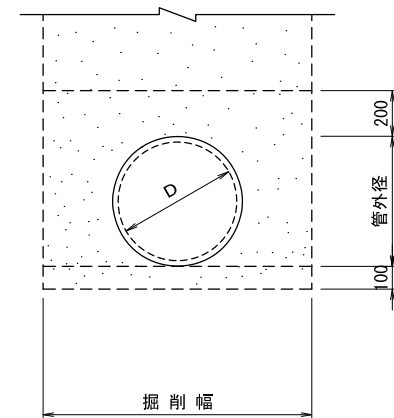
断面図(素掘り工法)



寸法表

呼び径 (D)	(mm)	
	掘削幅 B3	掘削幅 B4
150	550	750
200	600	620
250	650	670
300	700	720
350	750	770

断面図(土留め工法)



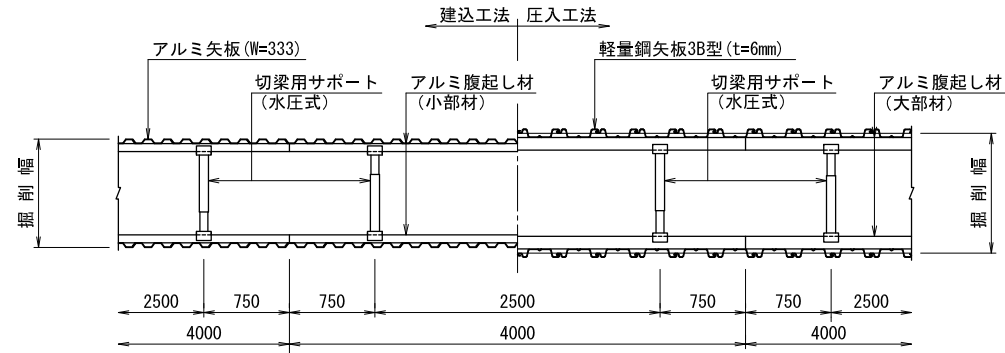
寸法表

呼び径 (D)	(mm)
管外径	
150	165
200	216
250	267
300	318
350	370

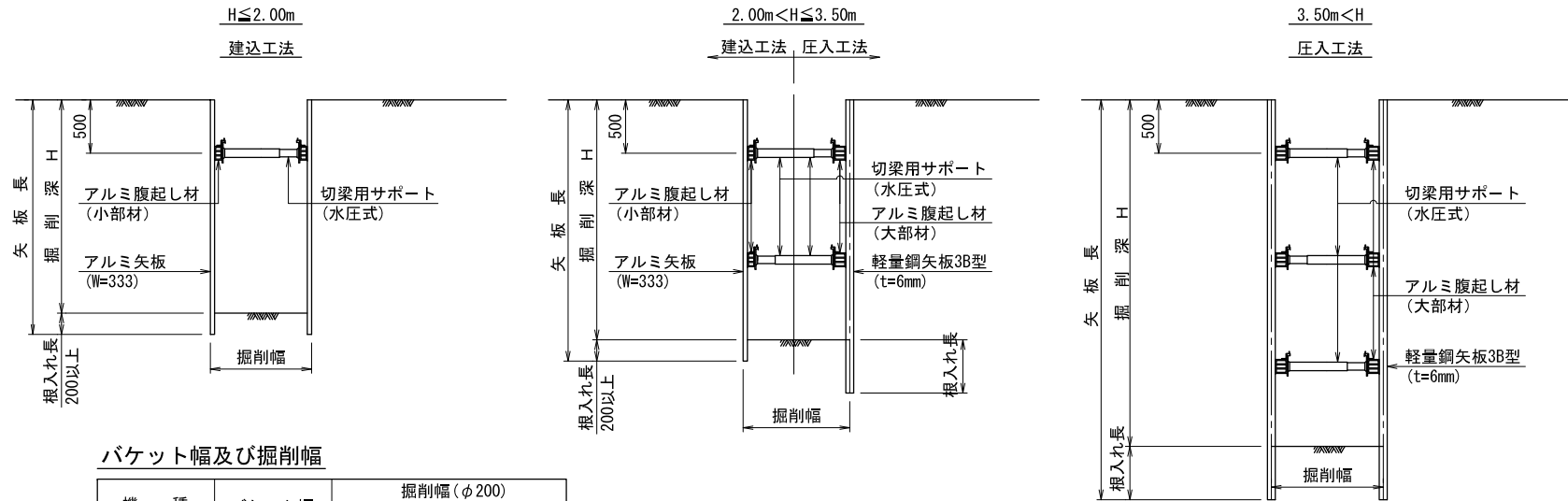
※管上に地下水がある場合の埋戻し材は、再生砂とする。

図面	硬質塩化ビニル管基礎標準図	
縮尺	—	図番 1
松戸市 建設部		

平面図



断面図



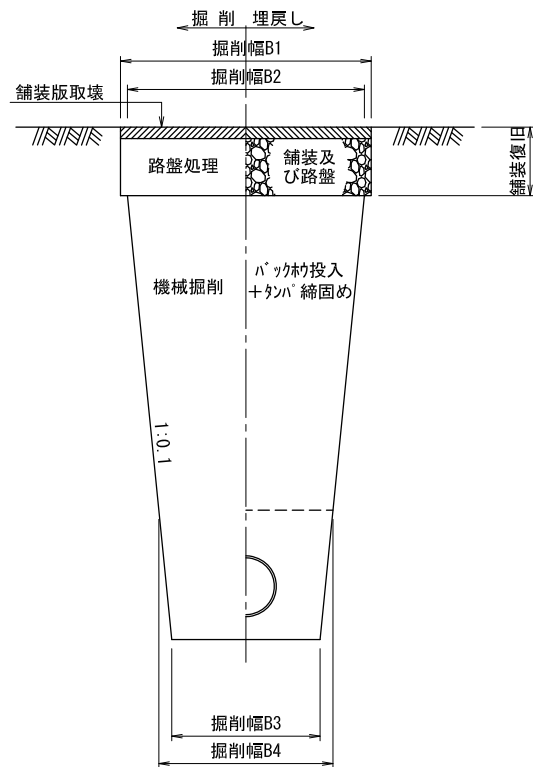
バケット幅及び掘削幅

機種	バケット幅	掘削幅 (φ200)	
		建込工法 (アルミ)	圧入工法 (軽量)
0.13m3級	0.45m	0.95m	0.95m
0.28m3級	0.60m	0.95m	1.05m
0.45m3級	0.75m	1.10m	1.20m

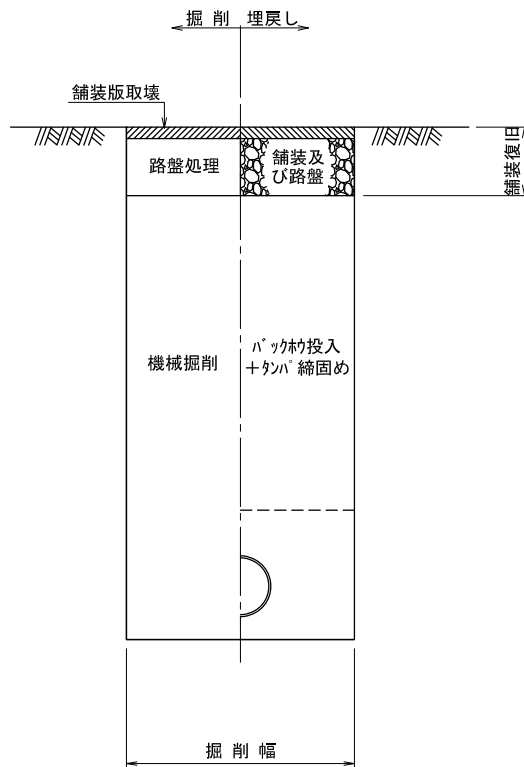
※ 矢板長は、縦断面図参照

図面	土留工標準図	
縮尺	—	図番 6
松戸市 建設部		

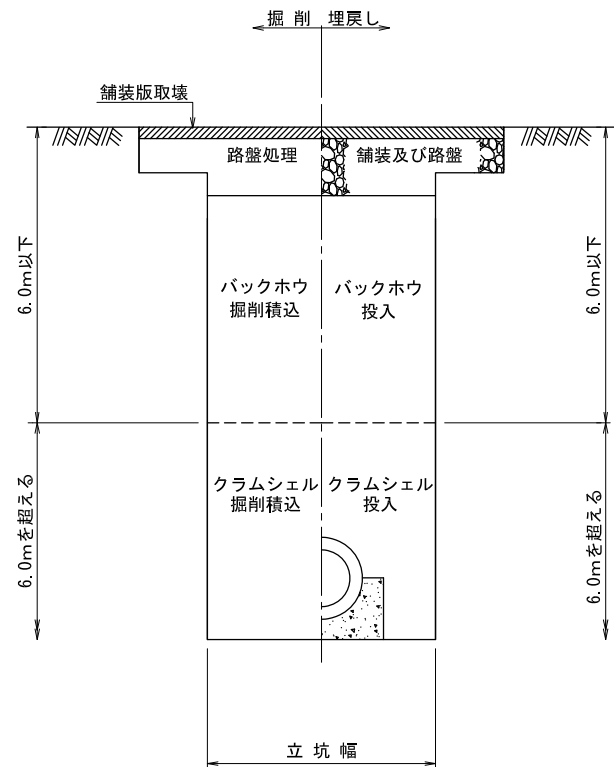
開削部(素掘り工法)



開削部(土留め工法)

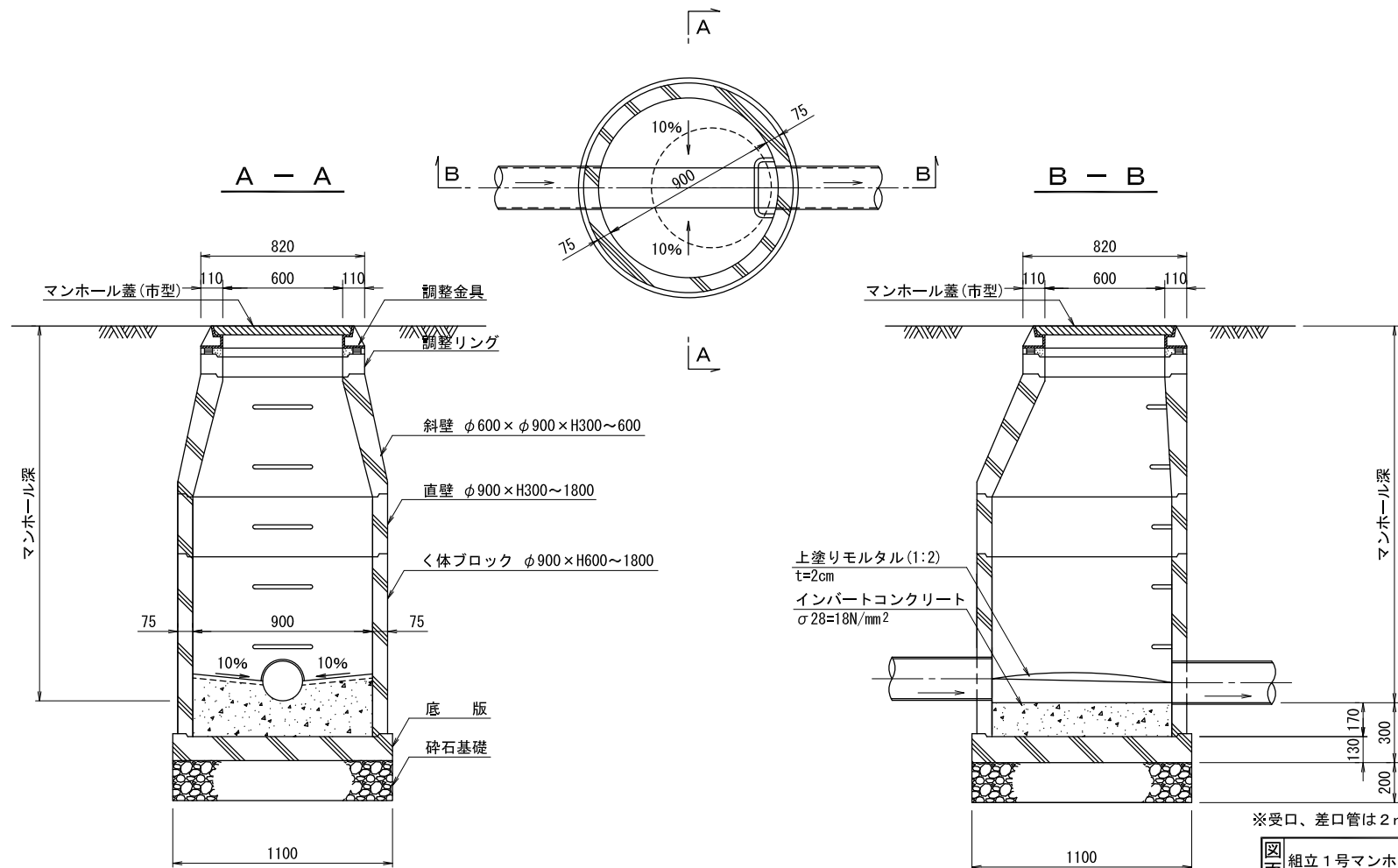


立坑部



図面	土工図	
縮尺	—	図番 7
松戸市 建設部		

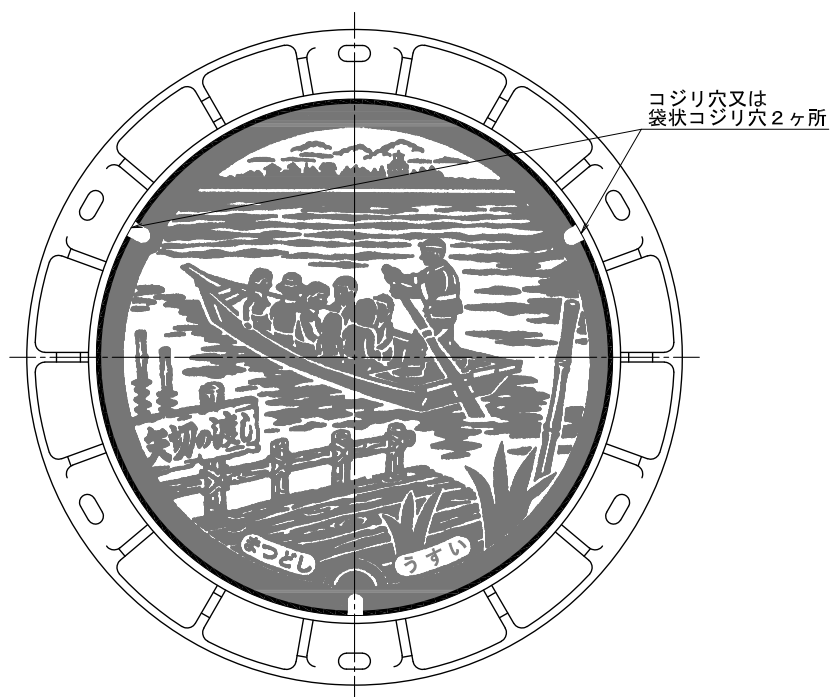
平面図



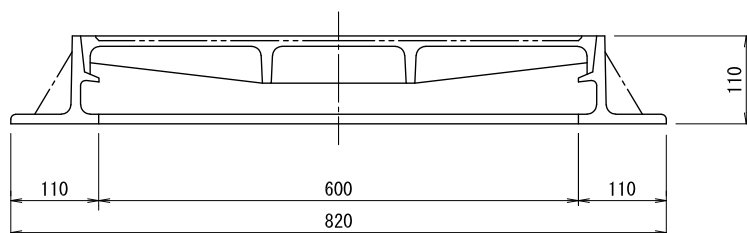
※受口、差口管は2m未満の管を使用する

図面 縮尺	組立1号マンホール(内径900)標準図		
	1:20	図番	16
松戸市 建設部			

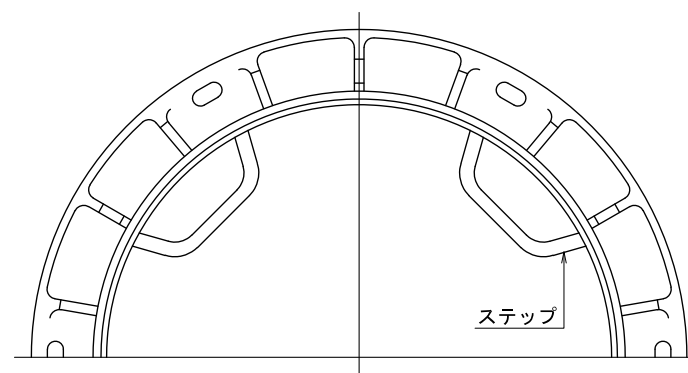
紋章平面図



断面図



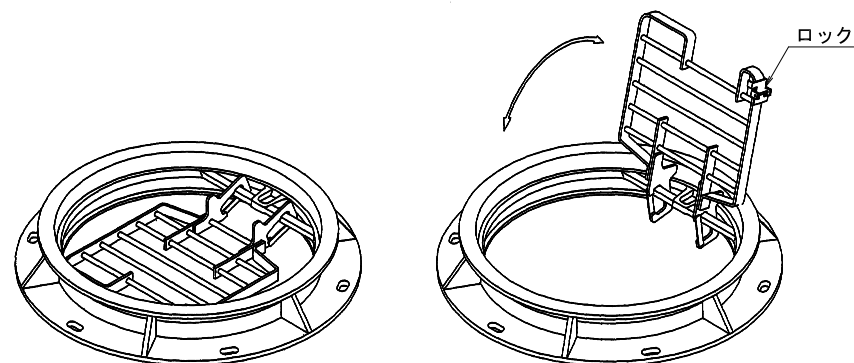
ステップ取付図（参考）



（特記事項）

1. ふたと枠は蝶番で連結した構造とする。
2. 浮上防止機能及びロック機能付きとする。
3. 受け枠にはステップが付いたものとし、将来転落防止機能等を装備できる構造とする。
4. マンホール深が2m以上には、転落防止用梯子を設けるものとする。

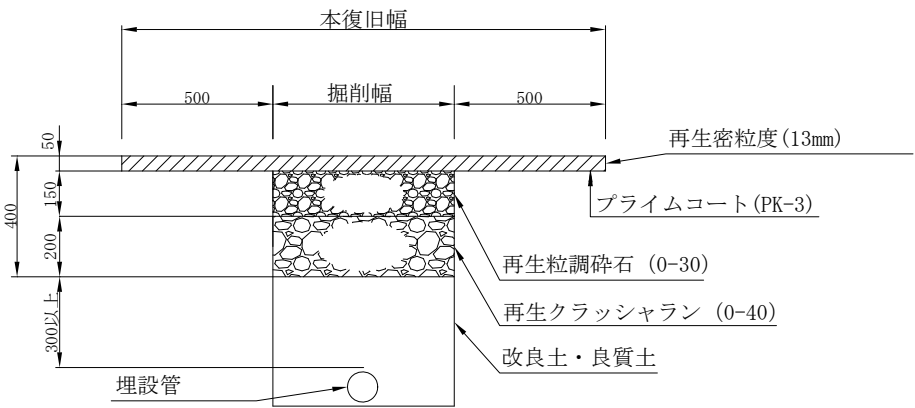
ロック付転落防止用梯子図（参考）



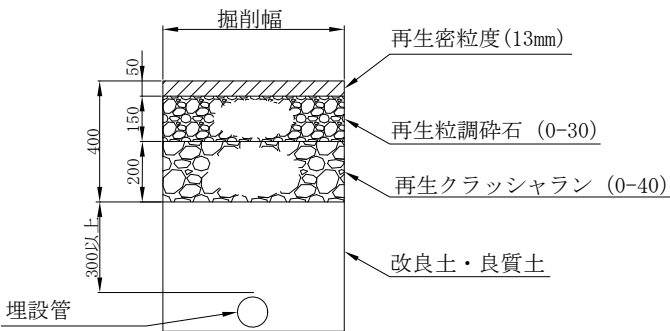
図面 縮尺	マンホール鉄蓋詳細図		
	1:6	図番	19
	松戸市 建設部		

松戸市一般（交通区分：N 3・旧 L 交通）

本 復 旧



仮 復 旧

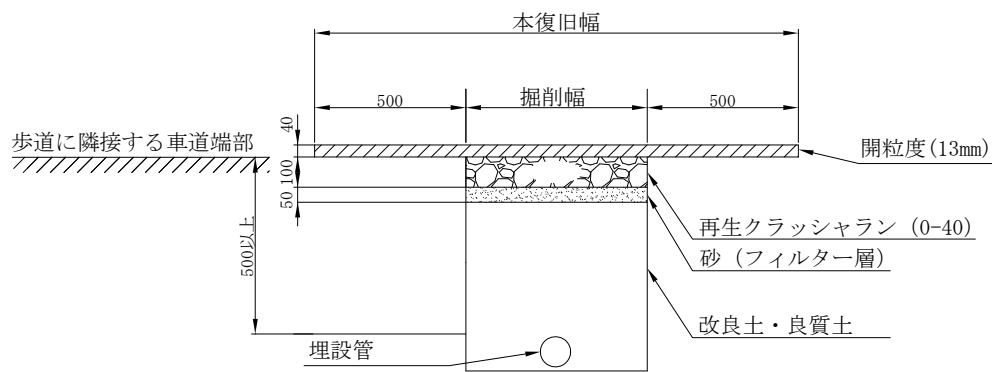


＊ 占用物の埋設深さ等は、別途定める基準による。

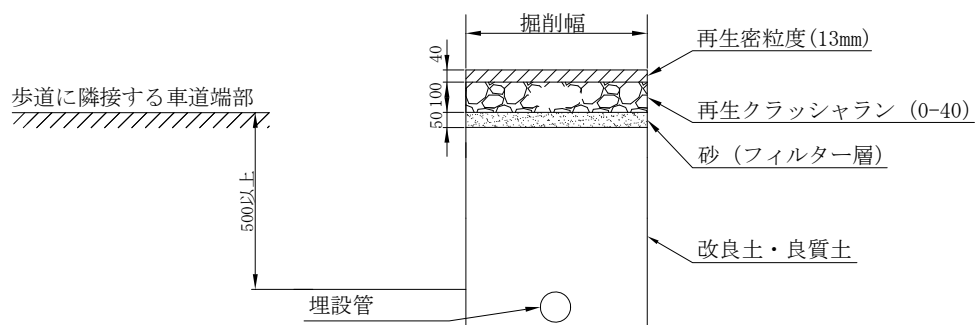
注 既設表層舗装との接合は合材接着テープ等により十分に接合させること。

松戸市普通歩道 アスファルト舗装(一般部)

本 復 旧



仮 復 旧



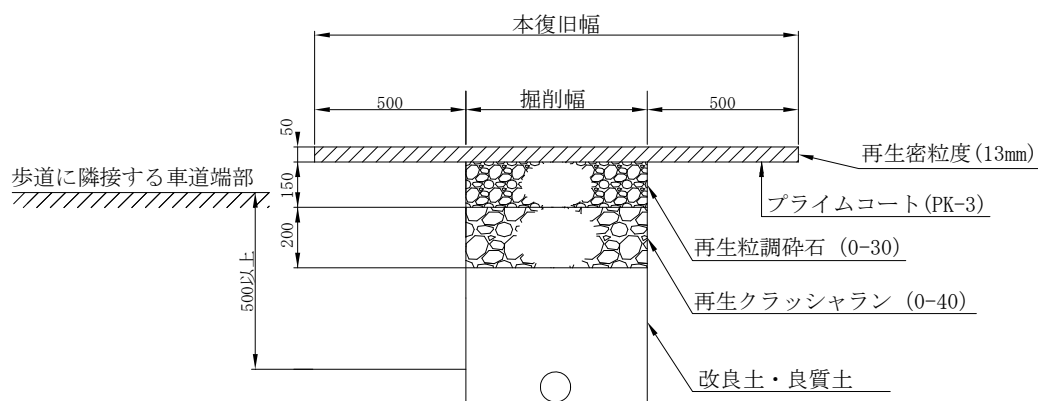
＊ 占用物の埋設深さ等は、別途定める基準による。

注 横断復旧は幅 2mを最小とし、全幅員とする。

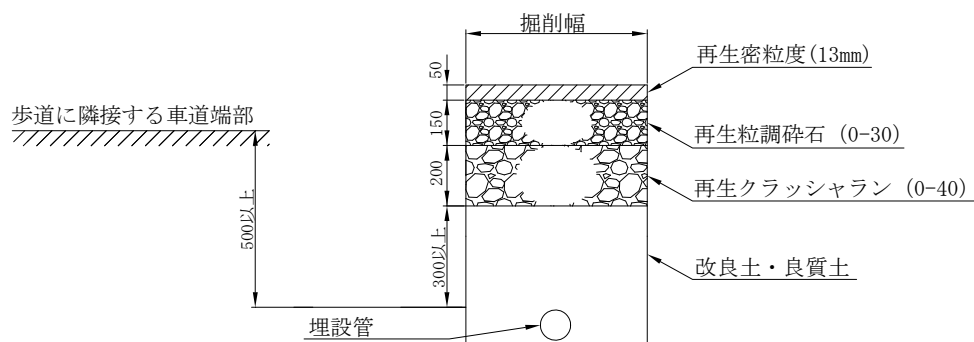
松戸市普通歩道 アスファルト舗装

(車両出入口部 車両の出入りが比較的少ない箇所)

本 復 旧



仮 復 旧



＊ 占用物の埋設深さ等は、別途定める基準による。

注 横断復旧は幅 2m を最小とし、全幅員とする。